

福音主義神学会 西部部会 春期研究会 プログラム

1. 日時 2005年4月25日(月)10:00-16:00

2. 場所 神戸ルーテル神学校にて。

3. 主題 「福音主義神学・靈性: イントロダクション」

…福音主義神学と靈性の間の「・」を、「と、そして、にとって、のための、に対する、等々」いろいろなたちで考えることができます。あなたはこの関係をどのように考えておられるでしょうか。今回はこの関係とともに考え、議論し、そのパースペクティブと方向性を見出していきたいと思います。

4. プログラム

9:30 受付(会場校学生、弁当ないし外食)。

10:00- 理事会

10:30-10:45 開会礼拝 工藤弘雄理事長

10:50-12:30 分科会:研究発表と質疑(30分[発表20分、質疑10分]×3)、

分科会は三つ、司会・進行係は、当日朝に出席者の中から依頼する。

【研究発表者・分科会】

● 第一分科会[発表20分、質疑10分]×3

- 「ペテロの生涯と奉仕における神学と靈性の関係についての考察」 細江誠貢(関西聖書学院三年生卒業予定、可児福音教会)
- 「ルーテル教会の教職制-万人祭司論と教職論-」石崎伸二(西明石福音教会・高岡チャペル)
- 「『神の知恵』はロゴスか聖靈か-エイレナイオスとテオフィロスによる『神の知恵』解釈」金井由嗣(関西聖書神学校舎監)

● 第二分科会[発表20分、質疑10分]×3

- 『詩編119編における「トーラー」の神学』坂井孝宏(神戸改革派神学校本科3年生)
- 「パウル・ティリッヒにおける究極の概念について」安田正幸(大阪キリスト教短期大学専攻科神学専攻、卒業予定)
- 「N.T.ライトのパウロの義認論(ニューパースペクティブ)への批評をめぐって-リゴン・ダンカンの論文を中心にして-」遠藤克則(神戸神学館講師、改革長老北鈴伝道所)

● 第三分科会[発表30分、質疑15分]×2

- 「タルグムによる主のしもべの歌に見る初期ユダヤ教の靈性」橋内明裕(神戸ルーテル神学校卒業生、ときわ台キリスト教会牧師、神戸ルーテル聖書学院講師)
- 「J.ウェスレーと旧約聖書:『旧約注解』の釈義的方法の一考察」重富勝己(大阪キリスト教短期大学神学科)

12:30- 1:30 昼食(弁当ないし外食)。(理事会は昼食とともに)

1:30-2:00 総会

2:00—3:00	<u>講演(終了時に献金タイム)</u> 渡辺睦夫 師 講演テーマ「福音主義神学・靈性:イントロダクション」
3:00—3:20	<u>レスポンス</u> 安黒務 師
3:20—3:40	<u>質疑応答</u> 司会:橋本昭夫 師(春期研究会全体の進行も担当)。
3:40—3:50	<u>総括</u> 瀧浦滋 師
3:50—4:00	<u>閉会</u> 橋本昭夫 師

講師紹介

渡辺師のホームページに掲載されています自己紹介です。渡辺師は、今年の全国研究会議でも、歴史神学からの講演者として奉仕されます。著書、翻訳書、研究活動につきましては、渡辺師のホームページをご覧ください。<http://church.jp/wordansp/>

渡辺 睦夫

岐阜県揖斐川町出身、1952年生まれ。17才の時に揖斐川町七間町キリスト教会(現在、日本福音キリスト教会連合:揖斐キリスト教会)で受洗する。

現在、愛知県岩倉市にある岩倉キリスト教会(同盟福音キリスト教会)牧師である。また、東海聖書神学塾で新約釈義、ギリシャ語中級、聖靈論のクラスを担当している。家族には妻と四人の子供(うち一人は召天)がいる。

東洋大学、聖書神学舎、リジェントカレッジ(神学修士)、トリニティー国際大学(牧会学博士)で学ぶと共に、1977年より揖斐・北方キリスト教会(岐阜県)、1989年より Megumi Baptist Church(カナダ:バンクーバー)で牧師として奉仕し、1995年に岩倉キリスト教会の牧会を始めている。「ワーダン・スピリットの会」主宰。

リジェントカレッジでは、J.I.Packer 博士の下で聖靈論などについて学び(卒論は、現代の預言運動について)、トリニティー大学では教会刷新論などの学びと共に、日本の JEA と NRA の今後のあり方に関する論文(Interpreting the Book of Acts の翻訳と合わせて)を書いた。